

【実践報告】

『トコトコのもり』プロジェクト2年目の展開
—学生がリーダーとなるキャンパスあそび広場とワークショップ—

"Tokotoko no Mori" Project the Second Year:
Campus Playground and Workshop Created by University Students

石山 めづ美¹⁾, 遠藤 知里²⁾, 田村 元延²⁾, 三原 信彦¹⁾

ISHIYAMA Izumi, ENDO Chisato, TAMURA Motonobu, MIHARA Nobuhiko

1) 常葉大学保育学部

2) 常葉大学短期大学部保育科

要旨

静岡草薙キャンパス誕生から5年を経た2023年度、保育学部生をリーダーとする子どものあそび広場『トコトコのもり』プロジェクトが始動した。2年度目となった2024年度には新たな展開がみられ、附属幼稚園と共同企画の夏まつりから『トコトコのもり』を開始することとなった。保育学部生・短期大学部保育科生を含めて延べ135人がプロジェクトに参加し、附属幼稚園をはじめ近隣の保育施設5園から延べ339人の子どもたちが来場した。学修者が将来につながる成長を実感でき、学生参画型の大学づくりにも寄与するプロジェクトとして発展を続けている。

キーワード：学生ボランティア、学修者本位、保育施設、社会貢献、遊びの広場

I はじめに

大学に期待される役割は変化しつつあり、現在においては、本来的な使命としている教育・研究と同時に、大学の社会貢献（地域社会・経済社会・国際社会等、広い意味での社会全体の発展への寄与）の重要性が強調されるようになってきている。地域における大学には、医療、福祉、教育といった地域にとって必要不可欠な分野に従事する者を育成する人材育成機関としての役割があり、地方の高等教育機関において保育者養成を担う本保育学部・短期大学部保育科が、人材育成と社会貢献の役割を期待されていることは明らかである。さらに、高等教育の目指すべき姿として「学修者本位の教育への転換」が求められている。今後の社会状況の変化に対応できる人材を育成する役割を果たすため、学修者が教育活動全体に参画する教育への転換、さらに将来の職業につながる成長を実感できる教育への転換が求められているといえる。

さて、静岡草薙キャンパスが2018年に誕生して以来、保育学部と短期大学部保育科の両学生が同キャンパスで保育を学ぶ環境となった。5年を経た2023年度、保育学部では学生をリーダーとする子どものあそび広場『トコトコのもり』プロジェクトを始動させ、短期大学部保育科生を含めたボランティア活動として試行した。2024年度は、短期大学部保育科からも学生実行委員が選出され、企画段階から

両学生が参画する形態に進化した。

本稿では、2 年目となった本プロジェクトの、2024 年度活動を報告する。

倫理的配慮として、本稿に掲載されている団体名、氏名、写真、コメントのすべては、本稿の趣旨を説明し、掲載の許可を得たものである。

Ⅱ 『トコトコのもり』プロジェクトの近隣園へのご案内

施設長各位

令和 6 年 9 月 13 日
常葉大学保育学部長 石山みづ美
トコトコのもり実行委員会一同

「トコトコのもり」のご案内

初秋の候、貴施設におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より常葉大学保育学部に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、保育学部「トコトコのもり」企画を今年度も行いますのでご案内申し上げます。学生スタッフや教員共々取り組み、誠心誠意努力し、皆様に楽しんでいただけるとともに良い関係を築いていく所存ですので、何卒ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

1. 概要: 常葉大学草薙キャンパス内で、保育者を目指す大学生と子どもたちが一緒に遊ぶ企画です。今年度は近隣（徒歩約 15 分以内）の保育施設にお声がけをさせていただいております。
2. 申し込み種別: 保育施設、園のクラス単位など集団にてお申し込み下さい。一度に 30 名程度の子どもが参加可能です。今回は個人でのお申し込みはご遠慮させていただきます。
3. 引率者: 引率者のご同行をお願い致しております。大学設備内では学生スタッフが案内対応致します。
4. 活動予定: 10 月は週 1 回、2 日・9 日・17 日・23 日（水曜）28 日（月曜）午前 9:30～11:30（開始・終了の詳細はご相談に応じます）。「あそび広場」の開催を予定しております。他には、11 月に「造形」12 月に「音楽」のワークショップを開催予定です。
5. お申し込み方法: まずはメールにてご連絡ください。tokomori@sz.tokoha-u.ac.jp
お申し込みの意思を確認後、申し込みフォームをお送り致しますので、そちらに人数等をご記入下さい。

※お申し込みは先着順となります。初回、混乱回避のため 1 つの施設につき 1 回のお申し込みとさせていただきます。なお、予約状況等は学部Instagramに掲載していく予定です。

https://www.instagram.com/tokoha_hoiku/

※昨年度の様子を常葉大学ホームページ、news & topics に掲載しております。

<https://www.tokoha-u.ac.jp/news/240311-3/>

○駐車場有り、事前に大きさ（マイクロバス等）と台数をお知らせ下さい。

○雨天中止です。主に屋外会場を利用しています。

○事前見学、下見についてはご相談下さい。

○損害保険等に関しまして、事故・けが等については所属の組織加入の保険適応をお願い致しております。なお、当設備内での緊急時・救急車手配・簡易的応急処置については迅速に対応するよう心がけております。

複数回の実行委員会を経て、実施日時、実施内容、実施方法、会計等の係分担が決まり、対象施設への『トコトコのもり』案内文とチラシが作成された。実行委員が各所への案内を実施した。

常葉大学 保育学部

トコトコの もり

常葉大学生とトコとんあそぼ！！

☆日時

2024 年 10 月 2 日、9 日、17 日、23 日、28 日「子どもあそびひろば」

・11 月 13 日(水)「造形ワークショップ」

・12 月 18 日(水)「音楽ワークショップ」

時間につきましては、**9:30~11:30**を予定しています。(開始・終了の詳細は相談に応じます。)

☆場所

常葉大学 草薙キャンパス

参加日時によって活動場所は変化します。

雨天中止ですのでご注意ください。



☆アクセス

〒422-8581 静岡県静岡市駿河区弥生町 6-1

JR 草薙駅北口から徒歩約 7 分

☆申し込み方法

下記のメールアドレスに参加希望の旨はご連絡ください。

tokomori@sz.tokoha-u.ac.jp

質問などはこちらのトコトコのもり実行委員会メールまで

右の QR コードから保育学部公式Instagramを見られます。予約状況などを UP していきます。

活動内容

常葉大学保育学部と
短大保育学部の学生
と一緒に遊びます。
活動内容は参加日時
によって変化します。

遊ぼう！

緑日→射的、ヨーヨー
すくい、輪投げ
ボールプール、宝探し
など

作ろう！

ハロウィンのお面づくり
輪ゴム鉄砲作り
スライムづくり
自然で作ろう など

動かそう！

ミニサッカー
縄跳び
ボール遊び
ダンス など



@TOKOHA_HOIKU

Ⅲ プロジェクト各回の報告

1. たちとこ夏祭り

7月5日（金）、常葉大学附属たちばな幼稚園と常葉大学保育学部『トコトコのもり』実行委員会との共同開催で『たちとこなつまつり』が開かれた。大勢の子どもたちとその御家族が草薙キャンパスにやって来て、大学生が企画した「かみひこうき」「わなげ」「金魚すくい」「プラネタリウムドーム」等で遊んだ。学生は保育の学びを、子どもたちとの遊びと共に実体験しながら、多くの笑顔があふれた楽しいイベントとなった。



（執筆 三原 信彦）

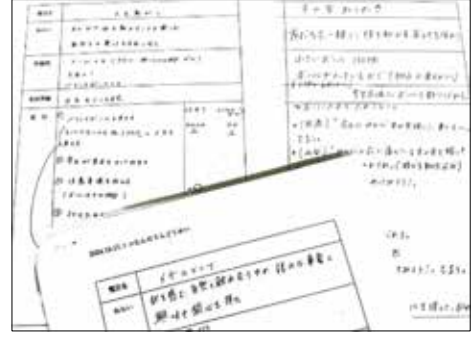
2. トコたんのうんどうかい

10月17日（木）は、幼保連携型認定こども園有度幼稚園・おれんじ組（満3歳児）の子どもたち23名が本学を訪れ、「トコたんのうんどうかい」をテーマに、秋らしい青空のもとで戸外遊びを楽しんだ。学生は、短期大学部保育科2年生13名（教職実践演習の遠藤グループの学生）、保育学部1年生6名が参加した。

準備体操「サンサン体操」、植え込みに隠した折り紙のバツタを見つける「バツタ探し」、軽く大きなボール（キンボール）での「大玉ころがし」、グラウンド一面にばらまかれた新聞紙ボールを木の実（どんぐり）に見立てて拾い集める「どんぐりあつめ」、紅葉したサクラの落ち葉を活かした「メダルづくり」などを、学生が計画し実践した。学生の事前の活動としては、教職実践演習の授業2回分を充てて教材研究を行ったうえで活動の構想を共有し、それぞれのあそびのねらいや配慮事項等を確認し合った。

当日は、満3歳児と活動を共にする中で、戸外での子どもの姿をつぶさに観察することができた。例えば、ものを操作するあそび（大玉ころがし）や、ものを持って走る場面があるあそび（どんぐりあつめ）では子どもが転ぶ場面に多く出会い、この年齢の子どもの運動発達の特徴や配慮点について理解を

深めることができた。けがが生じることなく安全に遊びを楽しむことができたのは、本学の人工芝グラウンドの環境もさることながら、子どもの動きを見ながら適切に援助を行う学生の対応力によるところが大きかった。また、導入の自然あそび（折り紙のバッタ探し、落ち葉のメダル作り）がきっかけとなつて、子どもたちが本物のどんぐりを見つけたり、サクラの落ち葉を手に取り見比べたりする姿が印象的であったが、これらの場面においても、学生の丁寧な言葉かけが子どもたちの興味関心を引き出していた。2年間の学びをまとめる時期である短大保育科2年生の学生にとっては、戸外あそびの環境や意味を改めて考える機会となり、また引率の先生方のかかわり方を直接見て学ぶ貴重な機会となった。



（執筆 遠藤 知里）

3. グラグラントで遊ぼう！！

10月28日（月）は、若竹こどもの森の子どもたち29名が本学を訪れ、アンバランスな環境を楽しむ「グラグラント」をテーマに、学生が準備したエアートラック（空気の入ったマット）ランド、バランスボールランド、リングボールランドの3つの遊びランドで自由に遊んだ。子どもたちは、自由に遊ぶ中で、多様な遊び方を生み出し、学生も一緒になって遊びを発展させる姿が見えた。特に、短大保育科の2年生は、これまでの実習経験を踏まえ、子どもたちと共に遊び込み、遊びを発展させる貴重な実践経験の場となった。

なお、当日の様子は、2024年11月14日（木）11時24分～ テレビ静岡「ちょっと！いいタイム」で放映された。



はじめの挨拶



エアートラックランド



リングボールランド



バランスボールランド



終わりのあいさつ

(執筆 田村 元延)

4. 造形ワークショップ（三原ゼミ）



11月13日（水）、南八幡幼稚園、年長組の子どもたち37名を迎えて、三原ゼミ生20名とトコトコのもりスタッフ10名による造形遊び「段ボール迷路に色を塗ろう」と「大きな紙にお絵かき」を行った。4m×4mの迷路と幅1.5m長さ10m超の紙に絵の具を塗ったり絵を描けるのは貴重な体験であった。



（執筆 三原 信彦）

5. 音楽ワークショップ（平野ゼミ）「トコトコのもり クリスマスえんそうかい」

2024年12月18日（水）に、平野ゼミ3年生12人が企画したワークショップ「トコトコのもり クリスマスえんそうかい」が開催された。昨年度に引き続き2回目の演奏会、今年はここは幼稚園の4歳児2クラスから50人を迎えた。校舎に入ってから会場の4階まで、大学生のお兄さん・お姉さんたちの勉強のお邪魔をしないようにと静かに階段を上って会場に到着した。

会場に入ると何が始まるのかわくわくの子どもたち。演奏会はこのプログラムで進行していった。



プログラム

1. ダンス「ぼよん行進曲」
2. ピアノ連弾 リトル・マーメイドより「アンダー・ザ・シー」
3. ピアノ連弾 アラジンより「ホール・ニュー・ワールド」
4. フルートとクラリネットの二重奏 アナと雪の女王より「レット・イット・ゴー」
5. 合奏 となりのトトロ
6. 合奏 クリスマスメドレー

始まりのダンスは子どもたちと学生が元気に体を動かした。ピアノやフルート、クラリネットの演奏では音楽はもちろん、子どもたちが大好きなキャラクター画像とのコラボレーションも楽しんでいた。合奏の前には一人ひとりに小さな楽器が配られ、子どもたちも演奏に参加した。楽器の特徴や名前に興味津々な子どもたちは、楽器当てクイズでも活発に交流した。



音楽ワークショップが終わると、トコトコのもり実行委員の学生と一緒に草薙校舎内探検をしてから、子育て支援室での昼食、昼食後は外に出て、サクラ・コートとグラウンドも探検した。大学でたっぷり過ごして幼稚園へのバスに乗る子どもたちからは「また来たい!」との声が聞かれた。

(執筆 石山 めづ美)

6. 来場者、学生ボランティア、教員、小テーマのまとめ

7月5日の初回から12月18日の最終回まで、計5回の延べ来場者人数、学生ボランティア人数、教員数、主な企画を表に示した。339人の子どもたちと40人の引率者を『トコトコのもり』に迎えることができた。子どもたちと触れ合ったボランティア学生は、学部生98人、短大生37人、延べ135人であった。学生たちは子どもたちと楽しく過ごすためにアイデアを出し合い、毎回多彩な企画を準備して臨んでいた。そこでは保育課程での学び、実習等で培った経験を生かした様々な催しが行われた。

ゼミナールでの参加では音楽、造形、体育等の各種専門領域それぞれの特色を打ち出していた。実行委員会は毎回実施後の振り返り会を行い、次回に向けた改善点を共有した。担当教員による助言を受け、回を重ねるごとに遊び広場の運営力を向上させていた。

トコトコのもり来場者、学生ボランティア、教員、小テーマのまとめ（単位：人）

No.	開催日	近隣施設	系列園	子ども	クラス	引率者	学部生	短大生	学部教員	短大教員	小テーマ
1	7月 5日 金		○	200	全クラス	27	30	13	4	1	「かみひこうき」「わなげ」「金魚すくい」「プラネタリウムドーム」「フォトスポット」
2	10月 17日 木	○		23	満3歳児	2	6	13	3	1	「トコたんのうんどうかい」自然あそび、運動あそび（リズム体操、大玉ころがし、玉あつめ）
3	10月 28日 月	○		29	満4・5歳児	3	17	11	2	1	トコトコのもり～グラグラランド～
4	11月 13日 水	○		37	満5歳児	3	30	0	1	0	「段ボール迷路に色を塗ろう」「大きな紙にお絵かき」場所屋外
5	12月 18日 水		○	50	満4歳児	5	15	0	3	0	「トコトコのもりクリスマスえんそうかい」（ダンス、ピアノ連弾、二重奏、合奏）
計	5回	3施設	2園	339	0	40	98	37	13	3	

6. トコトコのもりドキュメンテーション



トコトコの森



近隣の幼稚園・こども園の子ども達が遊びに来てくれました。

7/5 たちばな幼稚園様（園児・保護者）
たちとこ夏祭りを開催しました！

オリジナルの紙飛行機を
作って飛ばしました😊





ドームの中で
ひかり遊びをしたよ😊

若竹幼稚園様
造形ワークショップ
を開催しました！
自分の好きなように段ボールに
お絵描きをしたよ🐱



10/17 アイアイ有度幼稚園様
大きなボールを転がして
遊びました！
ボールリレーで競争もしたね❤️



※トコトコの森とは保育学部事業です。

（制作 金高きらら、塩澤このは）

IV おわりに

『トコトコのもり』プロジェクトは2年を経て、多様な可能性を秘めた活動であることが確認された。社会貢献活動であると同時に「学修者本位」の教育活動であるこのプロジェクトについて、参画した学生が何を学びとったかを明らかにしながら考察を深めていきたい。今年度参画した学生が来年度に続く学修者の学びの充実にも貢献できる環境をつくりたい。学修者が将来につながる成長を実感でき、学生参画型の大学づくりにも寄与するプロジェクトとして、これからも発展させていきたい。